

令和3年度 全国学力学習状況調査 結果概要

御前崎中学校

「全国学力学習状況調査」は、生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の改善を図ったり、学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てたりすることを目的に、毎年行われています。令和3年度は、5月27日に実施されました。学力調査と質問紙調査の結果分析をしましたので、一部を御紹介いたします。

質問紙調査より

肯定的に答えた生徒の割合が全国平均に比べて高かった項目（**良好**）と、低かった項目（**課題**）を紹介します。

良好 ()内の数値…4段階の解答で最も肯定的に答えた本校の割合の全国平均との差

- 友達と協力するのは楽しいと思いますか。(＋7.6%)
- 今住んでいる地域の行事に参加していますか。(＋36.0%)
- 学校で、ICT機器を学習のためにどの程度使用していますか。(＋29.7%)
「ほぼ毎日」と答えた割合 本校39.4% 全国9.7%
- 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいますか。(＋10.5%)
- 学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。(＋11.1%)
- 将来の夢や目標を持っていますか。(＋6.3%)

※「新聞を読んでいますか」の質問に肯定的に答えた割合が、全国に比べ＋41.0%でした。

無償で本校に新聞を届けてくださっている山下新聞店さん。いつも、ありがとうございます。

課題

- 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。(－9.3%)
- 学校以外で、平日1日当たりどれくらい勉強しますか。塾を含む。(－7.7%)
- 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。(－3.5%)
- 平日、1日当たりどれくらいの時間、ゲームをしますか。3時間以上と答えた割合
本校47.7% 全国32.3% (＋15.4%)

本校では、学校教育目標「思いやる」のもと、「主体的に活動する生徒の育成」を目指しています。調査結果から、授業へ主体的に取り組み、友達と協力するのは楽しいと感じ、学級でも互いのよさを認め合いながら生活できていることが伺えます。このような主体的な活動が、将来の夢や目標を持つ生徒の割合の高さにつながっていると考えられます。

反面、学校での学習に興味をもち、家でもそれを調べたり、学んだことを確認したり、さらによいもののように追求したりする生徒の割合が少ないことがうかがえます。

子どもは、自分が興味をもったことを自分なりの方法で学習することが得意です。家庭でも主体的な学びをしなくなるように、学校でも授業を工夫していきたいと思えます。

学力調査より

国語

問題正答率は、全国平均とほぼ同じであった。

良好 全国平均よりも平均正答率が高かった問題

「話す・聞く能力」「書く能力」が試される問題では、全国平均を上回る問題が見られた。
授業において話し合いや交流の機会を増やしたり、考えを書く活動を積極的に行っていたりしてきた成果だと考えられます。

課題 全国平均よりも平均正答率が下回った問題

「読むこと」が試される問題・・・場面の状況や登場人物の心情を的確に捉える問題
「言語についての知識・理解・技能」が試される問題・・・「随時」の正確な意味を選択する問題
「行く」を適切な敬語に直す問題

以上の課題を改善するために、

- ① 語彙を増やすなどの知識の定着・・・思考力判断力を養うためには基盤となる知識が必要
敬語など実生活に直結する知識も必要

学校生活全体で言葉の知識の定着を意識した活動をしていきます。

- ② 難しい課題に対しても粘り強く取り組む力

この力をつけるために、粘り強く取り組みたくなる課題のある授業や、課題解決の達成感を味わえる授業づくりを目指していきます。

数学

問題正答率は、全国平均とほぼ同じであった。

良好 「知識・理解」を問う問題の正答率が、全国平均に比べ高かった。

課題 「論理的に説明する力」

グラフの特徴を基に理由を説明する問題

平行四辺形になるための条件を使って説明する問題

論理的に説明する力を高めるために、なぜそうなるのかを数学的用語を使って相手にわかるように説明する活動をこれまで以上に取り入れていきます。